

我が社の
障害者雇用

社会福祉法人 きらくえん

ノーマライゼーション

～どんなに重い障がいがあってもすべての人が
地域の中で一人の生活者としての暮らしを築く～



会社概要

- 代表者 ● 理事長 市川禮子
本社所在地 ● 神戸市中央区（本部）
事業内容 ● 兵庫県下の尼崎市、朝来市、芦屋市、神戸市において特別養護老人ホームを中心に、多岐にわたる在宅福祉サービス、制度外のサービスも行っています。
従業員数 ● 813名 うち障害者数14名
【身体障害2名、知的障害10名、精神障害2名】



障害者雇用について人事担当者にインタビュー

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

弊社の施設「喜楽苑」は、1983年に尼崎市で最初に開設された特別養護老人ホーム（現在は多くの在宅福祉サービス等を併設し高齢者福祉施設と呼称）です。

最初は労働者数が50名ほどの特養ホームでしたが、法人の事業規模が大きくなり2000年頃には労働者数は600名を超えました。障害者雇用にも本格的に取り組み始めたのはその頃からです。その後、徐々に雇用人数が増え、現在は障害者法定雇用率を達成しています。

法人理念はノーマライゼーションです。「どんなに重い障害があっても、地域の中でひとりの生活者としての暮らしを築く」ことを目的として、当然のこととして障害者雇用に取り組んでいます。



インタビューの様子

採用はどのように？

ハローワークの求人や職業訓練所からの紹介が大半で、時には障害者雇用の就職支援セミナーにも参加しています。希望があれば職場体験の受け入れも行っています。

最近は特別支援学校からの実習を受け入れており、1週間の実習後、採用に繋がったケースもあります。実習中は先生とも密に連絡を取り、最終オリエンテーションにはご両親も参加

され、就職してからの具体的な仕事のイメージを本人・ご両親ともに伝える機会を設けました。

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

その人の特性に合わせ、清掃やリネン交換などの軽作業や、職員と一緒に食事や排泄の介護補助を担当してもらっています。職員と同じような3交代勤務はありませんが、要所で様々な業務を担っており、職員からの信頼も厚いです。



施設職員とともに

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

今回、ジョブコーチに入ってもらい、色々なサポートをしてもらいました。現場ではどのように仕事をしてもらったら良いか、どう接したら良いかなど職員の理解が不十分なところがあります。障害の特性により教え方・伝え方も違いますが、ジョブコーチからそれぞれにあった方法を教えてもらい大変勉強になりました。

継続して10年、20年楽しく働ける職場環境づくりに努めていきたいと思っています。



車椅子の点検作業中

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

それぞれの特性に合わせたマニュアルを作成しています。「声かけはどうしたら良いか？」「補助はどのようにしたら良いか？」など、それぞれに合わせて1つ1つ作成しています。作成したマニュアルを、職員に周知し、全員でフォローするようにしています。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

障害者雇用と言っても特別な事とは考えていません。喜楽苑で働いている方の中には軽介護を担っている方もいます。大事なのは業務の順序とその伝え方です。伝え方を間違えると混乱することもありますので、それぞれの特性をしっかりと理解することが大切です。

障害のある人も一緒に頑張ってくれることで、全職員が入居者の方と関われる時間も自然と増えてきます。働く時間や仕事内容をよく考えて対応すれば、障害がある人も力を発揮しやすくなります。

入居者の皆さんも熱心に働く姿に信頼をおかれ、親しくなることもできます。

障害を個性ととらえ、チーム全体でサポートすれば十分に力になってくれます。障害者法定雇用率を満たすという事だけでなく気負わずにチームの一職員として考えてみてはどうでしょうか。



施設内の風景

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

現在で10年目になります。

どのような仕事に従事されていますか？

食器洗い、食事介助、シーツ交換、車いすの整備、在庫の管理など色々な業務を任されています。

この会社に勤めて良かったと思う事は？

職場の皆さんが優しくしてくれるので毎日仕事が楽しくできる事です。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

車椅子の整備が好きなので、将来はタイヤ交換など、車椅子の修理が出来るようになりたいです。



清掃中の様子